

その咳、本当に風邪ですか？もしかして、結核かも！

～結核は過去の病気ではありません～

結核は過去の病気ではありません

現在でも全国で1日に約28人の新しい患者が発生し、約4人が命を落としている感染症です。
令和5年に東京都内で確認された患者数は1,190人で、そのうち約65%は65歳以上の高齢者です。

結核の症状は？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。

最初は風邪に似た症状ですが、以下のいずれかにあてはまる場合には早めに受診しましょう。

咳、痰が
2週間続く



微熱が続く



食欲不振・体重減少



体がだるい



どのように感染するの？

同じ肺結核患者の中でも、特に病状が進行し菌を排出ようになった方が咳やくしゃみをした際に、その「しぶき」と一緒に結核菌が空気中に飛び散ります。それを周りの人が直接吸い込むことで、感染します。

感染と発病は違います

感染は、結核菌が体内に入っても、免疫の働きによって**症状が何もない状態**です。

発病は、免疫機能低下により、結核菌が体内で活動し、**身体の異常や症状が現れている状態**です。

結核と診断されても、6か月から9か月の間、適切に薬を服薬することで治ります。

感染しただけでは人にうつしません

発病し、進行に伴って咳や痰の中に結核菌が含まれるようになると、周囲の人にうつる可能性が高くなります。

感染した人のうち

発病するのは10人中1～2人です
発病する前に、早期に受診し治療することで人にうつすのを防ぐことができます。



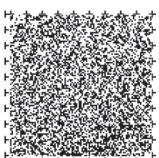
感染防止には早期発見が大切です

～他人にうつさないために・自身が重症化で苦しまないために～

✓ 年に1回結核の**定期健康診断で胸部X線**の検査を！

✓ **だるさや食欲不振**がある場合でも結核を疑いましょう。

✓ 咳、痰が長引く場合は、**早めに医療機関を受診**しましょう。



【この記事に関する問合せ先】 西多摩保健所 保健対策課 感染症対策担当